

Syllabus Id	Syl-090570
Subject Id	Sub-090403802
更新履歴	20090327新規
授業科目名	工業英語 English for Engiuneers
担当教員名	相良 誠 Sagara Makoto
対象クラス	制御情報工学科5年生
単位数	1学修単位
必修 / 選択	必修
開講時期	前期
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	S5HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

技術者は産官学のどのような職場においても、英文の技術文書の読み書きは必須能力となっている。工業の代表的な5分野での技術会話を糸口に、工業英語の基礎を習得する。また、技術論文を作成する準備として、代表的なabstractの作文ができるようにする。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

中学校の理科、4年生までの英文法および英単語の習得。

学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、中間・期末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とす。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

工業英語は文学や会話にくらべ構造は簡単である。それは簡潔さと正確さを重要視していることによる。ただし、技術者が扱う広い分野で使われる多くの専門用語や数学・物理学などにかかわる表現方法などは日常の英語学習とは別の取り組みを要する。本コースでは工業英語3級へのアクセスを目指す教科書で、工業英語の基礎を学ぶ。また、さまざまな分野の技術論文のabstractを読むことで、論文の書き方に触れ、独特の言い回しを習得する。卒業研究のabstractでその成果を発揮されたい。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	教育目標、授業の進め方、自宅学習の方法、評価方法 等々の説明 技術論文abstract読解(以後、適宜)	
第2回		mechanical engineering 1	
第3回		mechanical engineering 2	
第4回		electrical and electronical engineering 1	
第5回		electrical and electronical engineering 2	
第6回		architectual engineering 1	
第7回	前期中間テスト		
第8回		試験解説、 architectual engineering 2	
第9回		chemical engineering 1	
第10回		chemical engineering 2	
第11回		environmental engineering 1	
第12回		environmental engineering 2	
第13回		computer engineering 1	
第14回		computer engineering 2	
第15回	前期期末試験	技術論文abstract英作文 を含む	

第16回	試験解説、リスニング
課題 授業で学習した内容を復習すること 配布する技術論文abstractを読んで大意をつかんでくること	
評価方法と基準 評価方法: ・前回学習した教科書内容と単語課題に関する小テストを毎回行う ・中間試験、期末試験では毎回の授業での習得状況と自己研鑽の状況进行评估する。 評価基準: 毎回の小テスト 30%、 中間試験 30%、 期末試験 30%、 課題履修および授業態度 10%	
教科書等	日本工業英語協会発行「工業英語ワンステップ 4級テキスト 3級へのアクセス」、配布資料
先修科目	4年生までの必修科目
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。